

## 協働パイロット事業（H28）企画提案書

団体名：NPO法人グリーンエネルギーしずおか

### 1 事業の名称

とめよう 地球温暖化 講座 小学校 生涯学習センターで活動

### 2 事業の概要（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください）

静岡市は、第2次静岡市環境基本計画を策定し、5つの基本理念のもと計画の推進を開始しました。とくに「環境の有限性の認識」「地球環境への影響の認識」は市民レベルでの理解が大変重要です。

私たちNPO法人グリーンエネルギーしずおか(以下、当法人)は、私たち一人一人が人類のエネルギー使用の現状がいかに関与しているかを認識し、省エネルギーの生活を心がけたり、化石燃料を再生可能エネルギーに切り替えていく社会づくりに貢献したりしていくことが喫緊の課題であることを啓発する事業を展開してきました。特に小学校や市民活動センター、商業施設等へチームを組んで出向き、座学と体験学習を組み合わせた、わかりやすく楽しみながら学べる環境プログラムを実践してきました。昨年度、県民運動「ふじのくにエコチャレンジTRY」のイベント部門でグランプリを受賞、さらに静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞の個人・団体部門を受賞し、高く評価していただきました。

環境省は2014年度より、IPCC第5評価報告書の内容を広く一般の国民に伝えていく「伝え手」として積極的な気候変動対策への取組の機運を醸成し、個人の行動変容につなげることを目的とした「IPCCレポートコミュニケーター」を養成しています。

当法人は昨年度、その「伝え手」を担うべく会員へ積極的な参加を促し、7名が「IPCCレポートコミュニケーター」になりました。この学習プログラムや、ツールをベースにグリエネが培ったノウハウも組み込んだ独自の学習プログラムを作成し、新規に環境教育実施の計画を策定しました。レポートコミュニケーター制度を活用することで最新のデータを盛り込み、各種プログラムの紹介も適宜行われることから学習プログラムも都度更新を続けていきたいと考えています。

小学校4、5年生で環境教育が始まることから学校と連携した出前講座は有効に機能すると思えます。また生涯学習センターで地球温暖化に関心の高い成人に講座を実施できれば地球の現状に危機感を持っていただける人の輪を広げていけると期待しています。

団体名：NPO法人グリーンエネルギーしずおか

### 3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

静岡市環境基本計画の5つの基本理念の定着、啓蒙すること沿う事業にすべく、次代を担う小学生や生涯学習に参加する成人世代を対象に、地球温暖化防止という喫緊の課題に気付いてもらい、具体的な行動を起こしていただくような事業を行います。

#### <当法人の役割>

- ① IPCCリポートコミュニケーター制度をベースに独自プログラムを開発し、楽しくわかりやすい講座の実施
- ② 科学的知見に基づいた最新の情報の提供
- ③ 静岡市全体の環境教育、生涯学習の活性化に貢献
- ④ IPCCリポートコミュニケーターとしてのスキルの向上を図り、持続発展的に展開されるよう、PDCAの実施

#### <静岡市の役割>

- ① 地域住民に効果的に啓蒙するため、教育委員会や小学校等への協力要請や開催に向けての日程調整
- ② 市民講座開催のための、生涯学習センター会場提供および集客のための広報活動
- ③ 環境基本計画の市民に向けて具体的なメッセージの発信
- ④ 静岡市全体の環境パフォーマンスをしっかりと把握し、環境基本計画のPDCA確認を継続。また適宜市民に進捗の発信

団体名：NPO法人グリーンエネルギーしずおか

### 4 事業計画・実施スケジュール

小学校2校 生涯学習センター3か所 計5か所での講座実施を想定しています

平成28年

- ・7月上旬 契約締結
- ・7月中旬 IPCCリポートコミュニケータープレゼン用「(仮称)二酸化炭素があと1億トンプレゼン キット」、「(仮称)どこでエネルギーが使われているかな キット」完成
- ・7月中旬 市民局 生涯学習推進課及び葵、東部、西部、南部、北部、長田等生涯学習センター担当者との講座実施に関する打ち合わせ
- ・7月中旬 教育委員会 教育局 教育総務課 総務係と小学校実施についての打ち合わせ
- ・9月中旬 第1回「体験！みんなで温暖化防止に取り組もう！講座」開催 生涯学習センター
- ・9月下旬 第2回「体験！みんなで温暖化防止に取り組もう！講座」開催 生涯学習センター
- ・10月中旬 第3回「体験！みんなで温暖化防止に取り組もう！講座」開催 生涯学習センター

- ・10月下旬 第4回「体験！みんなで温暖化防止に取り組もう！講座」開催 小学校
- ・11月上旬 第5回「体験！みんなで温暖化防止に取り組もう！講座」開催 小学校

平成29年

- ・3月末 事業完了に伴い、実績報告書の提出

団体名：NPO法人グリーンエネルギーしずおか

## 5. 実施体制及び主要スタッフの経歴

○西林 秀晃（理事） ※本事業主担当（窓口）

IPCCリポートコミュニケーター 静岡県環境学習指導員 井川自然の家自然体験活動育成指導者 静岡県地球温暖化防止活動推進員 エコ・クッキングナビゲーター 調理師 食生活アドバイザー他 企業はごろもフーズ社内でエコアクション21事務局、工場の省エネ活動指導。e co検定講座開催し63名の合格者を排出。平成27年度静岡県地球温暖化防止活動で知事褒章受賞。ESD環境省講座受講。エコ・クッキング大人の食育講座、フードマイレージ講座等実施。ふじのくに地球環境史ミュージアムインタープリター。静岡科学館サイエンスコミュニケーター、ナビゲーターとして活躍中。再生可能エネルギーの実質的なベースロード電源化、化石燃料に頼らない社会の実現と地域住民に共感共有できる社会の実現のためのコミュニケーションを行う。また次世代を担う小児、学童、学生に、かけがえのない地球環境を残していくための、環境学習を継続して実施。

○鮫島 忠典（副理事長） ※本事業主担当（キット開発）

IPCCリポートコミュニケーター 静岡県環境学習指導員他 静岡市、富士市、富士宮、藤枝市等の小学校、公民館、市民活動センター、商業施設等での環境教育（地球温暖化防止座学とエネルギー発生機器の体験）。当会の設立時から、小学生を中心とした環境教育講座を実施し地球温暖化の進行が待った無しの状況にあることを訴えてきた。小学校や市役所の環境部局との共同企画で講座を持たせてもらうことで効率よく訴えていけると考えている。

○長内 隆久（理事） ※本事業副担当（事務・広報）

IPCCリポートコミュニケーター 太陽光発電アドバイザー、うちエコ相談員、他 2005年～2013年まで、NPO法人アースライフネットワークで勤務し、静岡県地球温暖化防止活動推進センターを運営。家庭向けの環境家計簿を推進する事業や、県内各地で開催されるイベントにおいて、温暖化防止活動の普及啓発実績を有する。また「地球温暖化と私たちの暮らし」講演、「ごみの排出とCO2」講演等の実績もあり、ソーラークッカーづくり体験講座、自転車発電や省エネ地球実験講座等実施。

毎日欠かさず天気を気にしているのと同じようにとまでは言わないが、宇宙から地球を眺めるように視野を世界に広げて、今どんな気候変動が起きているのかを知ることからはじめてほしい。まずは家族や友人・知人と一緒に、世界でどんな気候変動が起きているのかを見て知っていきたいと考えている。

○青木茂 (理事長)

I P C Cリポートコミュニケーター 静岡県環境学習指導員 静岡県地球温暖化防止活動推進員他  
エネルギーから環境問題を考え行動する、当法人を平成 21 年に設立し、小学校や地域で「地球一個分  
で暮らそう」エコロジカルフットプリントを教材に、座学と自然エネルギー発電キット 8 種類を使い体  
験実験講座実施。延べ、200 回以上にわたる実績を持つ。気候変動問題はまだまだ広範な国民的関心を  
作り切れていない、草の根の徹底した活動が求められている。持続的に活動展開していきたい。

○大石 徹 (副理事長)

I P C Cリポートコミュニケーター 静岡県環境学習指導員 井川自然の家自然体験活動育成指導者他  
地域社会、小学校などにおいて、地球温暖化防止の啓蒙活動を実施中。静岡市主催の親子を中心とした  
自然環境体験学習のサポートを實踐中。今のままでは温暖化はますます進み、自分たちの子孫の時代には  
地球上の人類、生命に大きな悪影響を及ぼすことを、今を生きる世代から本気で考えよう！本気で実  
践しよう！を伝え、感じ、考えることを伝えていきたい。

○古江 健二 (副理事長)

静岡県環境学習指導員 静岡県地球温暖化防止活動推進員

○久保田 博音 (理事)

I P C Cリポートコミュニケーター 静岡県環境学習指導員 井川自然の家自然体験活動育成指導者  
自然エネルギーの実践ワーク、どの地域の人たちがではなく、全体で起こっている事を踏まえ、現状に  
対応して考えていける様に行動と意識を持つようにと考えている。

○小林 富二男

I P C Cリポートコミュニケーター 静岡県環境学習指導員 静岡県地球温暖化防止活動推進員  
環境カウンセラー他

2005 年から小学生やその家族及び一般市民を対象に地球温暖化の講演やグリエネのデモンストレーシ  
ョンを通して地球温暖化防止のための啓発活動を行っている。地球が温暖化していることやその原因が  
二酸化炭素の排出によることはある程度知られているが、現状がいかに深刻であるかはあまり理解され  
ていない。I P C C のリポートを通して、市民に現状を正確に把握し、温暖化がこのまま進むと深刻な  
問題が起きることを理解して頂き、家庭における二酸化炭素の排出抑制につながるような啓発活動をし  
て行きたいと思っている。

○坂本 和則 (理事)

静岡県環境学習指導員 井川自然の家自然体験活動育成指導者

6 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など）

<専門性>

IPCCレポートコミュニケーター7名が在籍。また合わせて、静岡県環境学習指導員、静岡県地球温暖化防止活動推進員、井川自然の家自然体験活動育成指導者等本事業にかかわるメンバーが豊富な指導、活動経験を持ちます。当法人は、ともに考えともに答えを導き出すことに長けた人材を擁します。

<独自性>

当法人が作成するIPCCプレゼンツールの活用することにより、静岡市内で本格的な、IPCCレポートコミュニケーターによる講座が開催可能です。また本事業を環境啓蒙団体にノウハウ提供を惜しまず、協働連携できる組織です。IPCCプレゼンツールに限らず再生可能エネルギー導入啓蒙、「エコ・クッキング教室」「フードマイレージ教室」「ソーラークッカーづくり教室」「静岡県初の大型太陽熱調理器導入」で各所での講座バリエーションも豊富で、参加対象に合わせたプログラムで実施可能です。

<先駆性>

IPCCレポートコミュニケーターは、「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」により作成された「第5次評価報告書(AR5)」の内容を、広く一般の国民に伝えていく活動者です。組織的に展開活動ができるよう7名のメンバーがまず受講取得し全国的にも有数の構成員を抱える実践組織となりました。国は2030年に、2013年比26%二酸化炭素削減を標榜しながら、また国、自治体も具体的な動きをとることができない中、その重要性を理解し、いち早く市民に啓蒙開始する体制をとれたことは先駆性の点では、評価に値すると思えます。

<実績>

2012年度から2015年度までの4か年では、6市1町(静岡市、浜松市、富士市、沼津市、袋井市、富士宮市、川根本町)で合計66回のイベント・講座を開催し、約9,400人に環境啓蒙活動を実施してきました。

具体的には、静岡市のほか、富士市、富士宮市内の小学校で出前講座を実施しました。そのほか、静岡市内では、静岡市番町市民活動センター、静岡市清水市民活動センター、イオン清水店、アピタ静岡店、静岡駅南口広場、日本平動物園、浅間大社、静岡県立大学、しずはた保育園等、静岡市外では、富士市環境フェアや川根本町産業文化祭でのイベント出展や講座等を実施してきました。

<2年間継続することの効果>

温暖化防止活動は、単年度でその効果を上げることはできず、また次世代を担う子どもたちが生きる地球の姿を形作ることに直結しています。一気に多数の次世代を担う市民に効果的に伝える手段があれば、単年度事業で構わないと思えますが、それはかなわず、地道に着実に継続することが必要です。2年間継続ののちは、静岡市において予算化も含め、市民の環境パフォーマンス改善継続を要望します。

(様式3)

協働パイロット事業 (H28) 見積書

団体名：NPO法人グリーンエネルギーしずおか

企画のタイトル： とめよう 温暖化防止 講座 小学校 生涯学習センターで活動

項目	金額	説明
・ IPCCツール作成費用 2種類	40,000	アクリル、地球儀、ピンポン玉 3000 個 プラパネル、カラーシール等購入作成
・ 講座実施メンバー日当	250,000	講座 5 名で実施 @10,000 円× 5 名× 5 回
・ 交通費(資材運搬)	10,000	車両使用 1 km 20 円× 500 km
小計 A	300,000	
消費税 B = A × 0.08	24,000	
合計 A + B	324,000	

◎実費弁償契約の希望の有無            有            ○無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
	0	